

教科	農業	科目	農業と情報	単位数	1 単位	学年	2 年	コース	全
使用教科書	農業と情報(実教出版)			使用副教材等	ビジネス文書実務検定模擬試験問題集(実教出版) 情報処理技能検定試験・表計算 模擬問題集(日本情報処理検定協会)				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	農業に関する情報について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	・定期考査 ・演習課題の達成状況(アプリケーションソフトウェア操作方法の習熟)	・定期考査 ・演習課題の達成状況(アプリケーションソフトウェア利用の工夫)	・演習課題の達成状況 ・授業・演習での取り組みの様子 【主体性】積極的に取り組んでいるか 【協働性】協力して共に学び合う姿勢が見られるか

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して授業に取り組む、情報化社会で生きる社会人として必要な知識とモラルを身に付け、日常生活に活かしてください。 ・演習中心の授業になります。自ら学ぶ姿勢(自主性)、協力してお互い高め合う姿勢(協働性)を意識して取り組んでください。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4 5 7	○オリエンテーション ・PC教室のルールを理解する。	※(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度 ・PC使用のアカウントとパスワードを確認のうえ、起動と終了方法を理解できた。(知)
		第4章 スマート農業への展望 1 スマート農業のめざす将来 2 システム開発と設計 3 プログラムの設計 4 計測と制御 5 リモートセンシングとGIS 6 人工知能 ・スマート農業やリモートセンシング、AIなどの計測・制御・通信のしくみ、データベースによる情報蓄積や管理の概念、モデル化やシミュレーションの方法や考え方などを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・データの重要性や農業情報システムの役割について理解し、AIやロボットの農業への利用や可能性を考えることができているか。(思) ・システム開発。設計の流れを理解し、モデル化について考えることができているか。(思) ・プログラム設計の流れやアルゴリズムを理解し、フローチャートを使って表現することができるか。(思) ・計測と制御のメカニズムを理解し、環境制御温室のフィードバック制御について説明できているか。(知) ・リモートセンシングと地理情報システムの概要について理解し、取得した情報を活用できているか。(思) ・人工知能の概要や農業における利用例及びロボット農機について理解できているか。(態)
	9 10 12	第5章 農業情報の分析と活用 1 農業情報の収集と分析 2 農業生産や経営情報の分析と活用 3 環境に関する情報の分析と活用 4 食品や地域資源に関する情報の分析と活用 ・農業情報や環境情報と関連付けた農業技術、経営に関する情報、地理空間情報、環境情報などの収集・蓄積と更新・処理等が、環境保全・農林業に及ぼす意義や役割について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業情報の種類と内容について理解し、収集したデータを分析し、活用することができるか。(思) ・農業生産や農業経営、出荷・販売に関する情報について理解し、情報を活用する方法を考えることができているか。(知) ・環境情報の種類と情報内容およびその活用技術について理解することができるか。(思) ・食品の安全性や地域資源を守るための情報活用技術について理解することができるか。(態)
3	1 2	第6章 農業学習と情報活用 1 農業学習とプロジェクト学習 2 プロジェクト発表と情報発信 3 データの視覚化と分析 ・栽培や飼育のプロジェクト学習に取り組み、その過程で得られたデータを正しく処理し、文章化したり、グラフ化してわかりやすくまとめて発表するとともに、その成果を情報発信するための一連の技術を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業学習の特徴とプロジェクトの四段階について理解することができるか。(知) ・プロジェクトをまとめ、情報通信ネットワークを活用して情報発信することができるか。(思) ・データの特徴を理解し、収集したデータを統計処理することができるか。(態)